

2026年度（2027年3月期）

第1四半期 決算説明会

代表取締役 専務執行役員
西田 達矢

2026年7月31日

2026年度第1四半期実績および上期見通し

為替レート	2025年度		2026年度			
	1Q	上期	1Q	2Q	上期	期初計画 (4月)
社内前提	-	-	¥155/US\$ ¥183/€	¥161/US\$ ¥185/€	→ ¥160/US\$ ¥185/€	¥155/US\$ ¥183/€
実績 *期中平均	¥145/US\$ ¥164/€	¥146/US\$ ¥168/€	¥159/US\$ ¥185/€	-	-	

※輸出は社内前提レート適用。為替感応度は社内前提レートで対USドル1円（円安）あたり営業利益+約5億円／年

2026年度第1四半期 損益概要

- 増収、営業大幅増益。経常利益も主に為替差益により大幅増益
- 売上高、営業利益、経常利益とも過去最高値を更新
- 最終利益は特別損失の計上によりわずかに減益

★：過去最高値

(億円)	2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	増減
売上高	3,051	★ 3,330	+278
営業利益	212	★ 255	+43
経常利益	202	★ 281	+79
親会社株主に帰属する 四半期純利益	131	128	▲4

2026年度第1四半期 セグメント別売上高・営業利益

- 3セグメントで増収増益。住宅は減収減益も概ね計画通り
- 中東情勢の悪化による原料高騰に対する価格転嫁は順調。加えて売上の前倒しが発生。
全社売上高、営業利益とも計画を上回って進捗
- フィルム型ペロブスカイト太陽電池事業は製品の供給を開始、実績化 2件（滋賀県、福岡市）
- 「その他」内訳： PV * ▲13億円、LB * 0億円、R&D他 ▲17億円

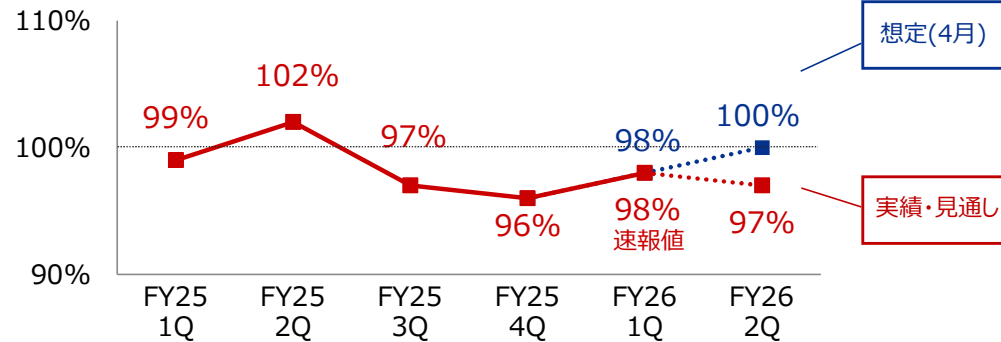
(億円)	2025年度 1Q実績		2026年度 1Q実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,082	137	★ 1,284	★ 172	+202	+34
住 宅	1,284	88	1,270	56	▲13	▲32
環境LL	519	35	★ 605	★ 69	+85	+34
メディカル	206	15	217	24	+12	+9
その他	13	▲33	15	▲30	+1	+3
消去又は全社	▲52	▲30	▲61	▲36	▲9	▲6
合計	3,051	212	★ 3,330	★ 255	+278	+43

*高機能P＝高機能プラスチックカンパニー *住宅＝住宅カンパニー *環境LL＝環境・ライフラインカンパニー

*PV＝ペロブスカイト太陽電池事業 *LB＝定置型リチウムイオン電池事業

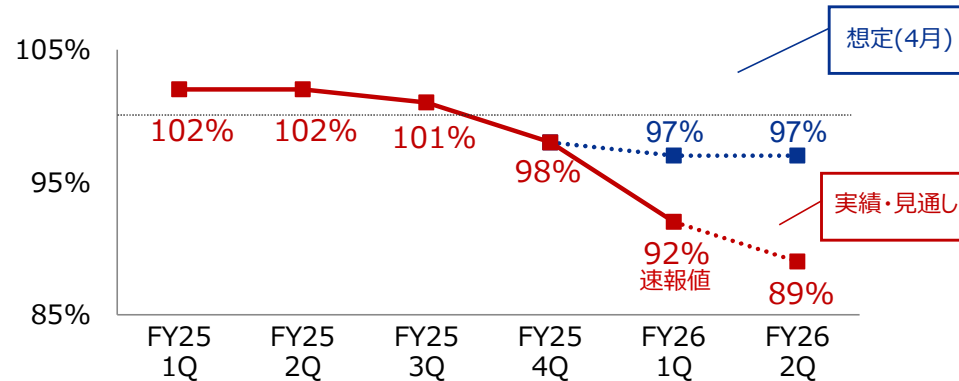
グローバル自動車生産台数 (前年同期比)

1Qは想定通り、前年を下回って推移。2Qは想定ならびに前年を下回る見通し



スマホ出荷台数 (前年同期比)

半導体メモリ不足等により、1Qは想定を下回って推移。2Qは更に減少し、想定ならびに前年を大きく下回る見通し



住宅・集客 (前年同期比)

資料請求 (WEB等) が増加するも、集客全体では前年を下回って推移。2Qも同様のトレンドを見込む

※[]内は想定 (4月)

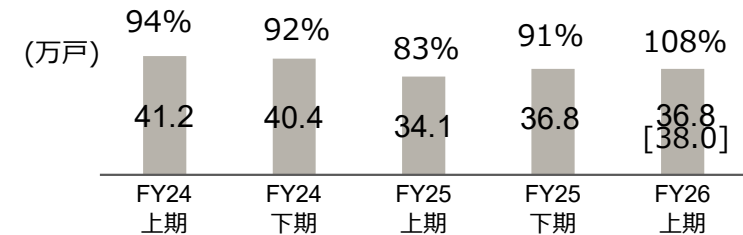
	FY25 1Q	FY25 上期	FY25 下期	FY26 1Q	FY26 上期
集客全体	98%	97%	97%	95%	97% [99%]
資料請求 (WEB等)	88%	92%	99%	112%	107% [102%]
展示場来店	78%	81%	80%	96%	95% [88%]

新設住宅着工 (前年同期比)

25年度の法改正による反動減は解消も、漸減傾向に変化なし

※環境LL各製品の需要発現：住宅着工後4～6ヶ月

※[]内は想定 (4月)



国産ナフサ価格前提

中東情勢悪化による影響大きく、1Qは大幅に上昇。2Qはやや下降する見通しも、計画 (4月) 前提を大きく上回る想定



2026年度上期見通し セグメント別売上高・営業利益

- 全社で増収増益。高機能Pと環境LLで最高営業利益を目指す
- 1Q実績をふまえ、環境LLおよび全社の売上高、営業利益の見通しを計画から上方修正
- 上期中については原料・部材等の確保に目処
- 「その他」内訳： PV ▲26億円、LB ▲4億円、R&D他 ▲40億円

(億円)	2025年度 上期実績		2026年度 上期見通し		増減		2026年度 上期計画(4月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	2,235	284	★ 2,552	★ 302	+317	+18	2,430	302	+122	0
住 宅	2,586	163	★ 2,767	165	+181	+2	2,795	165	▲28	0
環境LL	1,121	81	★ 1,215	★ 100	+94	+19	1,158	83	+57	+17
メディカル	443	45	457	48	+14	+3	460	48	▲3	0
その他	40	▲62	27	▲70	▲13	▲8	40	▲70	▲13	0
消去又は全社	▲127	▲55	▲113	▲65	+14	▲10	▲115	▲64	+2	▲1
合計	6,298	454	★ 6,905	480	+607	+26	6,768	464	+137	+16

2026年度上期見通し（1Q、2Q別） セグメント別

- 1Qは売上の前倒しや、原料、部材の調達難にも着実に対応
- 2Qは一定の需要調整を見込む
- 住宅は四半期ごとの前年対比増減で変動あるも、概ね計画通り

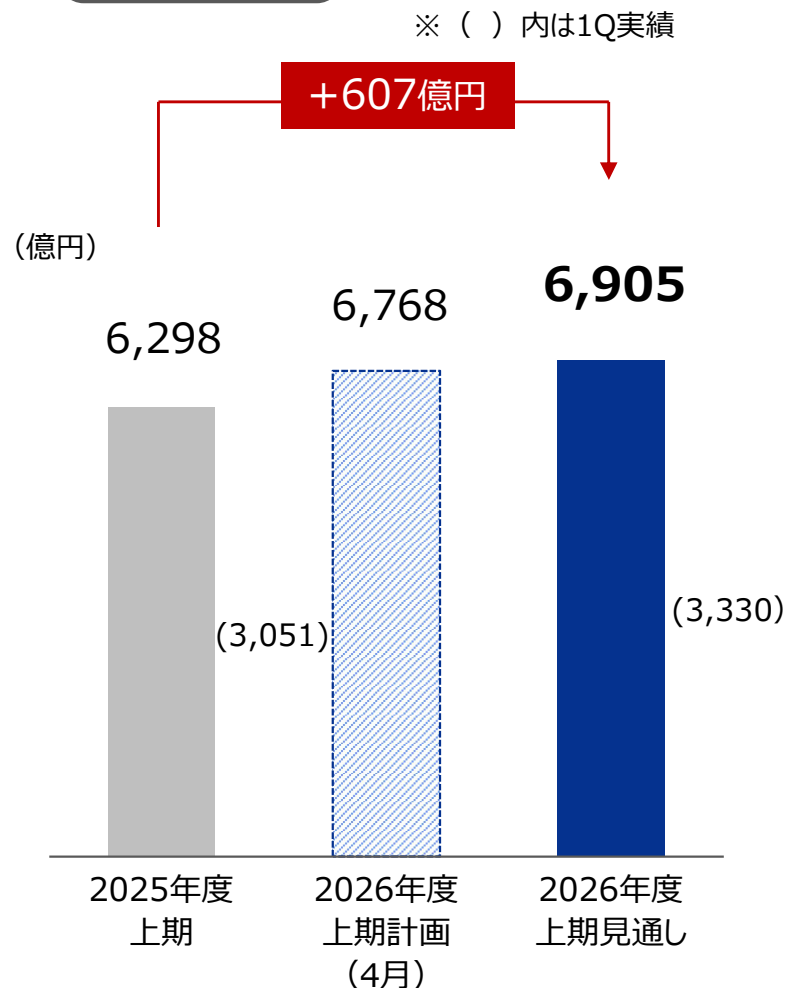
(億円)	2025年度 1Q実績		2026年度 1Q実績		増減		2025年度 2Q実績		2026年度 2Q見通し		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,082	137	★1,284	★172	+202	+34	1,153	146	★1,268	130	+115	▲16
住 宅	1,284	88	1,270	56	▲13	▲32	1,303	75	1,497	109	+194	+34
環境LL	519	35	★605	★69	+85	+34	602	46	610	31	+9	▲15
メディカル	206	15	217	24	+12	+9	237	30	240	24	+3	▲6
その他	13	▲33	15	▲30	+1	+3	27	▲30	12	▲40	▲14	▲11
消去又は全社	▲52	▲30	▲61	▲36	▲9	▲6	▲75	▲25	▲52	▲29	+23	▲4
合計	3,051	212	★3,330	★255	+278	+43	3,246	242	★3,575	225	+329	▲17

2026年度上期見通し 要因分析

- 中東情勢の悪化による「原料」高騰はほぼ想定通り。「売値」改善の徹底によりスプレッドを確保
- 「数量・構成」は、売上の前倒しもあり計画を上回って進捗も、2Qには一定の調整を見込む
- 「為替」差益、「固定費」抑制も寄与し、計画を上回る増益の見通し

売上高

※ () 内は1Q実績



営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
上期計画 (4月)	0	+21	+75	+11	+5	+35	▲138	+10
上期増減見通し	0	+30	+72	+162	▲148	+30	▲120	+26
高機能P+46、住宅+29、環境LL+10、メディカル▲9 中東情勢悪化による影響 想定 (4月) ▲140								
2025年度 上期	454億円							
2026年度 上期 合計	480億円							
1Q増減	0	+8	+47	+76	▲46	+5	▲46	+43
2Q増減	0	+22	+25	+86	▲102	+25	▲74	▲17

2026年度上期見通し 損益概要および株主還元

- 増収、営業増益、経常増益の見通し
- 売上高、営業利益、経常利益を計画から上方修正
- 中間配当は計画通り、1株あたり40円を計画

(億円)	2025年度 上期実績	2026年度 上期見通し	増減	2026年度 上期計画 (4月)	差異
売上高	6,298	★ 6,905	+607	6,768	+137
営業利益	454	480	+26	464	+16
経常利益	490	493	+3	466	+27
親会社株主に帰属する 四半期純利益	317	308	▲ 9	308	0
中間配当 (円/株)	40	40	0	40	0

2026年度上期見通し 要因分析

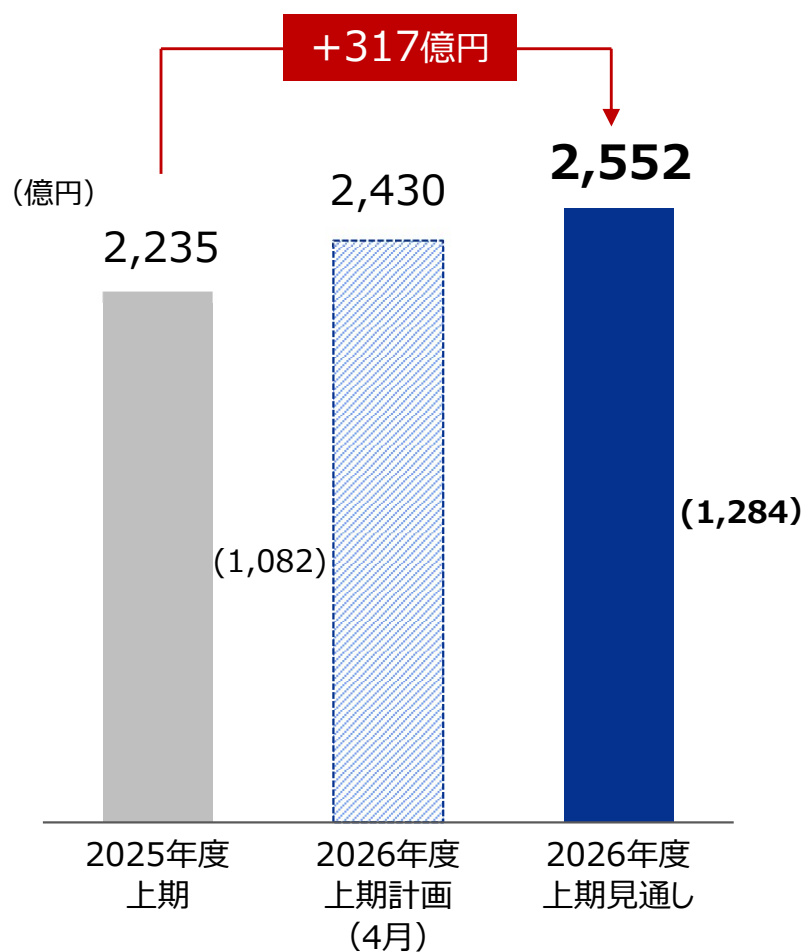
高機能
プラスチック

SEKISUI

- エレクトロニクス分野における旺盛な半導体需要や、モビリティ分野における航空部材の需要を着実に取り込み、「数量・構成」は前年対比増
- 想定以上の「原料」高騰の影響を、「売値」改善と「CR等」でカバー。計画通りの増収増益を見込む

売上高

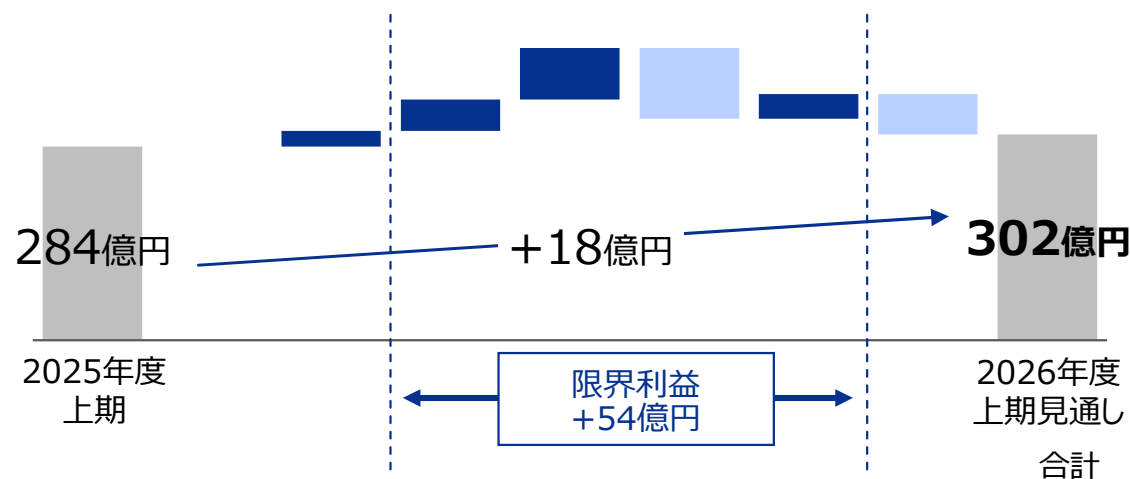
※（ ）内は1Q実績



営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
上期計画 (4月)	0	+17	+37	▲5	+2	+30	▲63	+18
上期増減見通し	0	+23	+46	+76	▲104	+36	▲59	+18

エレクトロニクス+17、モビリティ+29、
インダストリアル0



	1Q増減	2Q増減
連結増減	0	0
為替	+6	+17
数量・構成	+46	0
売値	+36	+40
原料	▲32	▲72
CR等	+6	+31
固定費	▲28	▲31
合計	+34	▲16

戦略3分野の売上高推移と重要指標

エレクトロニクス

デバイス材料
機能樹脂・FC

- 液晶分野は大型ディスプレイ需要が堅調に推移
- 半導体向けを中心とした旺盛な需要が継続。
MLCC用バインダー樹脂、セルファが大幅に伸長

モビリティ

中間膜

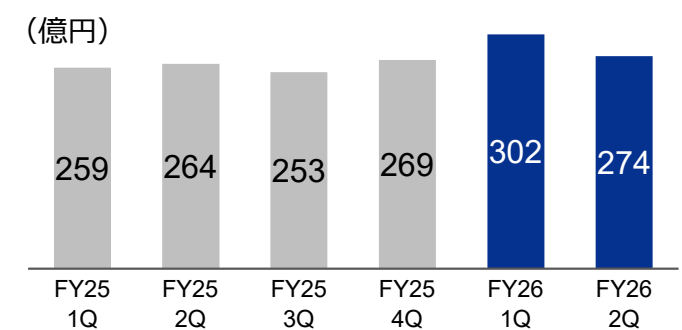
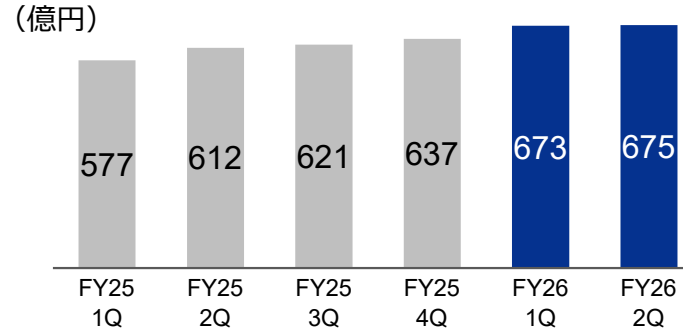
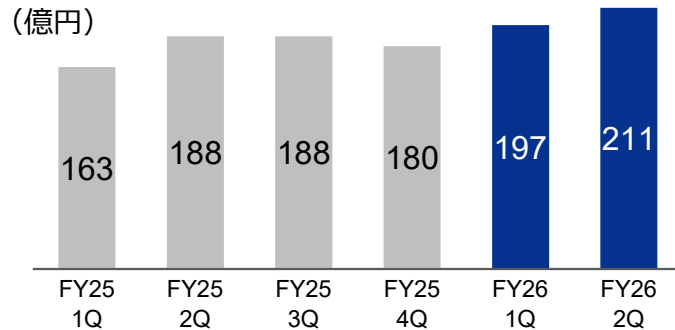
車両成形
航空部材

- HUD向け中間膜は堅調継続
(販売量ベース：上期100%超)
- 航空部材：航空機関連需要は回復基調。
ドローン・エアモビリティの新規分野は想定以上に拡大

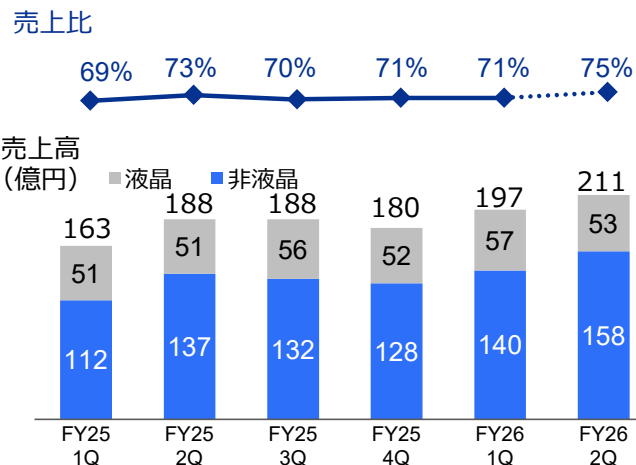
インダストリアル

センシング
成形品

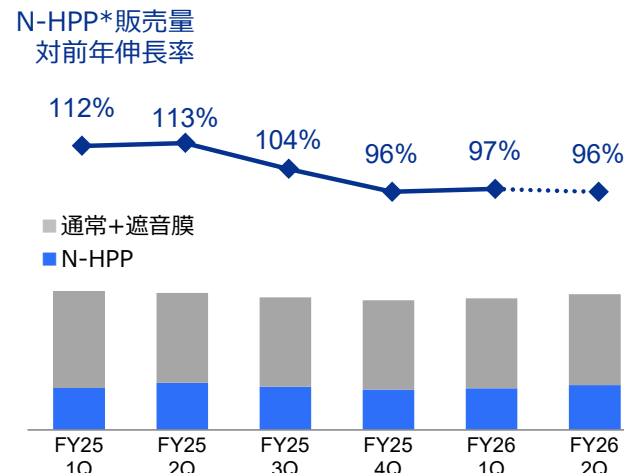
- センサー、ケアマテリアルなどを含む新規獲得
継続、「省力化・環境対応製品」の拡販に
注力
- 中東情勢の影響等による一部前倒し需要有り



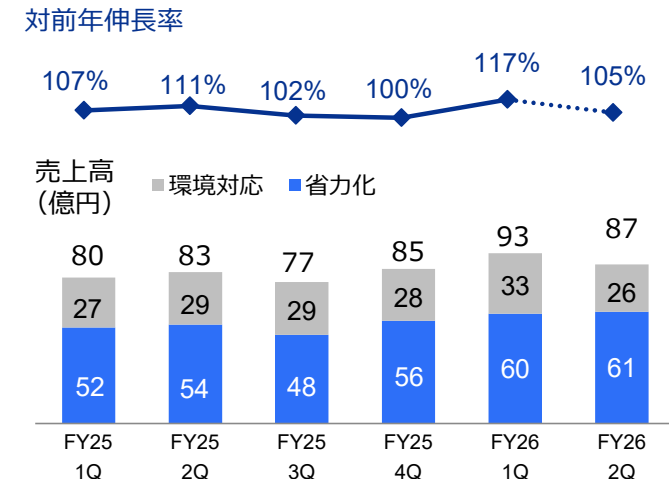
【非液晶分野売上高】



【N-HPP販売量】



【省力化・環境対応製品売上高】



* N-HPP：New高機能膜。従来の高機能膜から遮音膜を除き、それ以外のHUD、遮熱、カラー/デザイン膜を総称するもの

2026年度上期見通し 要因分析

住宅

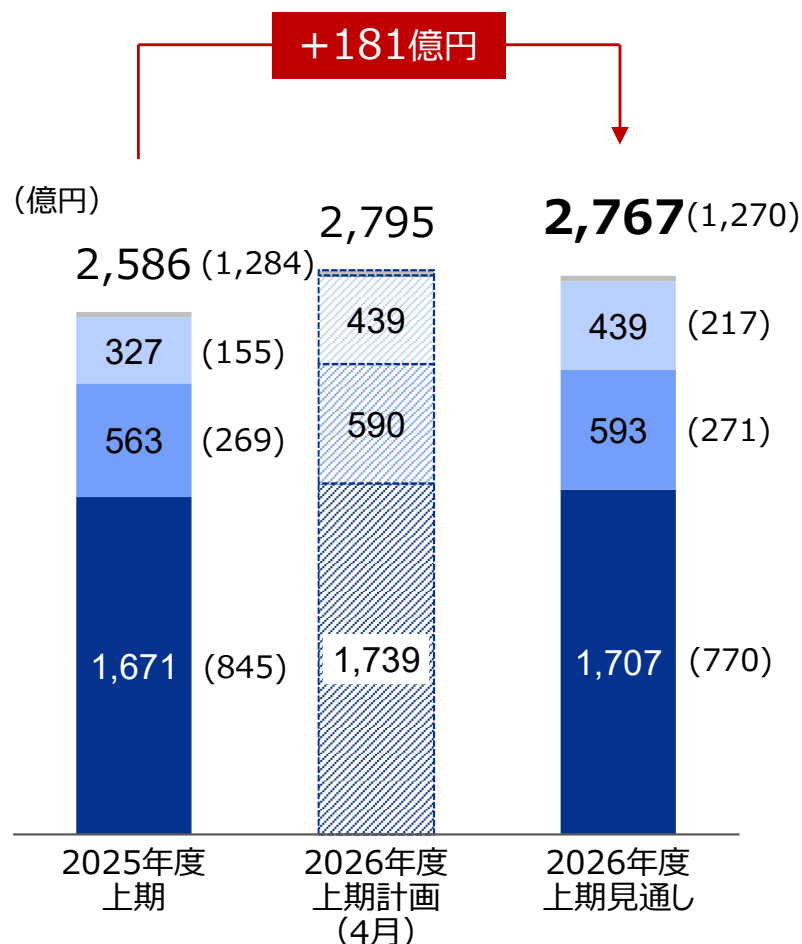
SEKISUI

- 1Qは住宅事業で売上棟数減も、リフォーム・レジデンシャル事業の伸長により、ほぼ計画通り着地
- 2Qは住宅事業の売上棟数増およびリフォーム事業の更なる受注拡大を見込む。上期はカンパニー全体として計画通り増収増益の見通し

事業別売上高

※（ ）内は1Q実績

■ 住宅 ■ リフォーム ■ レジデンシャル ■ その他*



営業利益増減要因分析

* その他 (海外・住生活)

	住宅				リフォーム		レジデンシャル			
	売上 要因	限界利益 要因	固定費	新規 連結	限界 利益	固定費	限界 利益	固定費	その他*	合計
上期計画 (4月)	▲5	+12	▲17	+2	+14	▲8	+20	▲14	▲2	+2
上期増減 見通し	▲19	+14	▲9	0	+15	▲7	+22	▲13	▲2	+2
売上棟数 対前年 ▲140棟 (1Q ▲320棟、2Q +180棟) 部材▲36 構成・CR等 +50										
163億円 +2億円 165億円 うち 住宅 : 88億円 リフォーム : 57億円 レジデンシャル : 17億円 その他 : 1億円 うち 住宅 : 75億円 リフォーム : 65億円 レジデンシャル : 27億円 その他 : ▲1億円										
2025年度 上期	住宅 ▲14億円				リフォーム +8億円		レジデンシャル +10億円		その他* ▲2億円	2026年度 上期見通し
1Q増減	▲45	+9	▲3	▲1	+4	▲3	+13	▲5	▲1	▲32
2Q増減	+24	+7	▲6	+1	+11	▲4	+8	▲8	▲1	+34

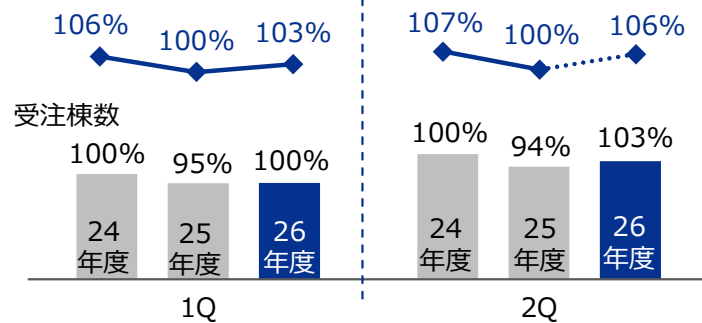
住宅事業

新築

新築受注

- 1Qは戸建の棟数維持と集合住宅の棟数増、および棟単価UPにより、受注棟数・金額とも概ね計画通り
- 新商品（4月発売）と建売の拡販により受注棟数増を図り、上期計画（棟数・金額）の達成を見込む（棟数：102%、金額：105%）

受注金額



<建築種別受注金額・棟数> (前年同期比)

		1Q実績		2Q	上期見通し
戸建	請負	棟数	101%	103%	102%
	建売	棟数	92%	102%	97%
		金額	101%	105%	103%
		棟数	100%	103%	101%
集合	金額	114%	114%	114%	
	棟数	106%	104%	105%	

		25上期	25下期	26上期 見通し
期末受注残	総額	1,600	1,600	1,620
	前年差	+65	0	+20

(億円)

(億円)

持続的な施工体制確保に向けた取り組み

- 北海道エリアの施工管理機能を新会社に集約。鉄骨・木造・リフォームの施工ノウハウを横断活用し、施工能力の安定確保と品質向上を推進

北海道セキスイハイム
(鉄骨ユニット住宅)

北海道セキスイファミエス
(リフォーム)

アーキテックプランニング
(木造軸組)

北海道セキスイハイム建設

<狙い>

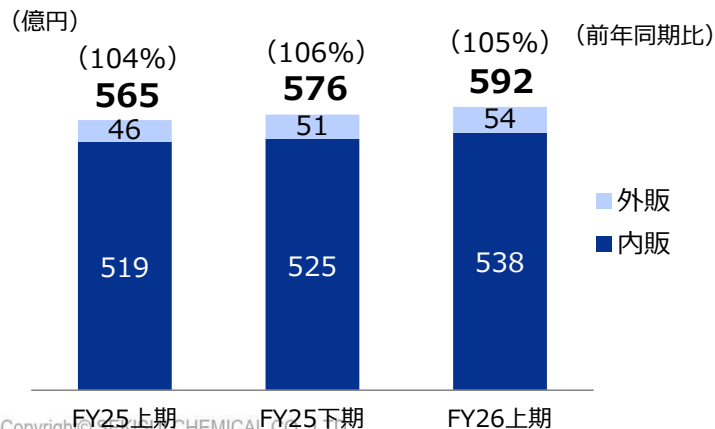
- ✓ 施工協力会社の安定した施工機会の確保
- ✓ 施工品質のさらなる向上と多能工化を推進
- ✓ モデルの確立を通じ、全国への展開を目指す

リフォーム事業

リフォーム

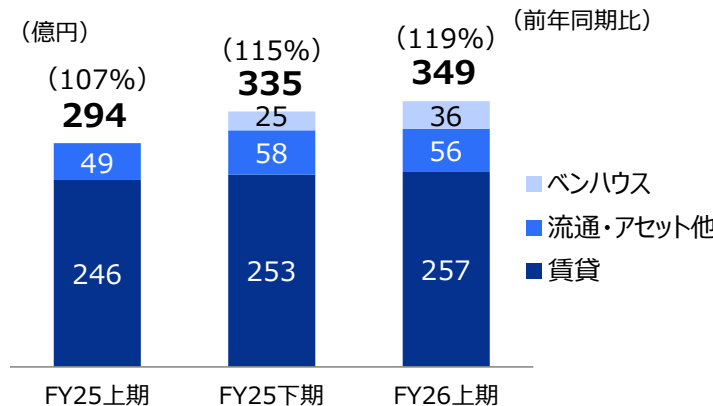
リフォーム受注高

- 内販：定期診断を起点とする受注が順調に拡大
- 外販：営業体制強化により受注拡大



不動産事業売上高

- 賃貸管理戸数は着実に増加
- 大都市圏を中心とした買取再販・仲介の強化

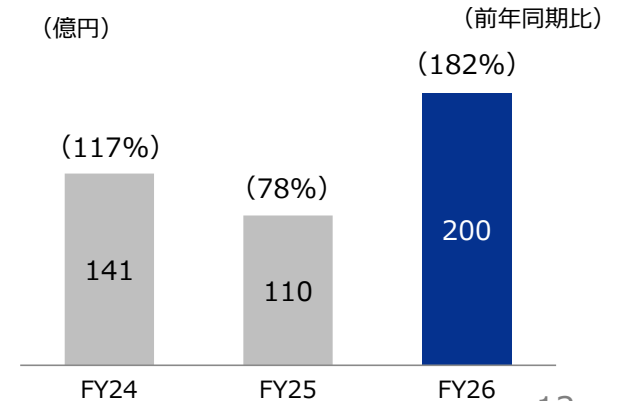


レジデンシャル事業

レジデンシャル

まちづくり事業売上高

- 首都圏を中心に販売が進捗
- 持続的成長に向け仕入れの積極化



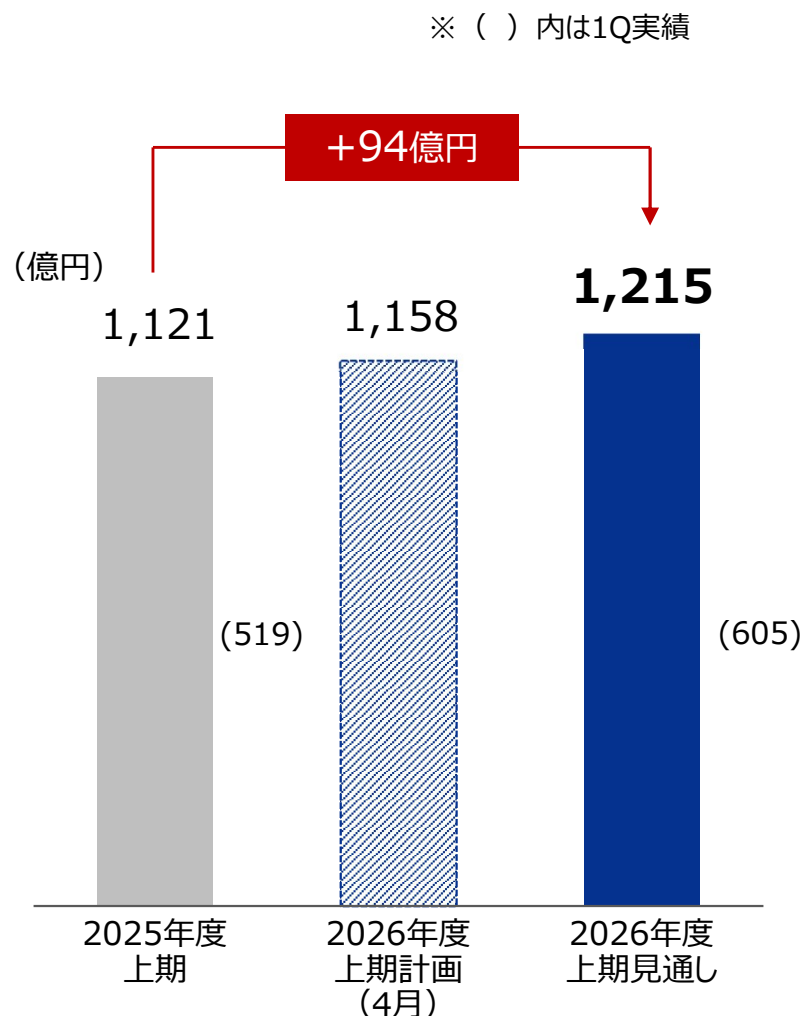
2026年度上期見通し 要因分析

環境・
ライフライン

SEKISUI

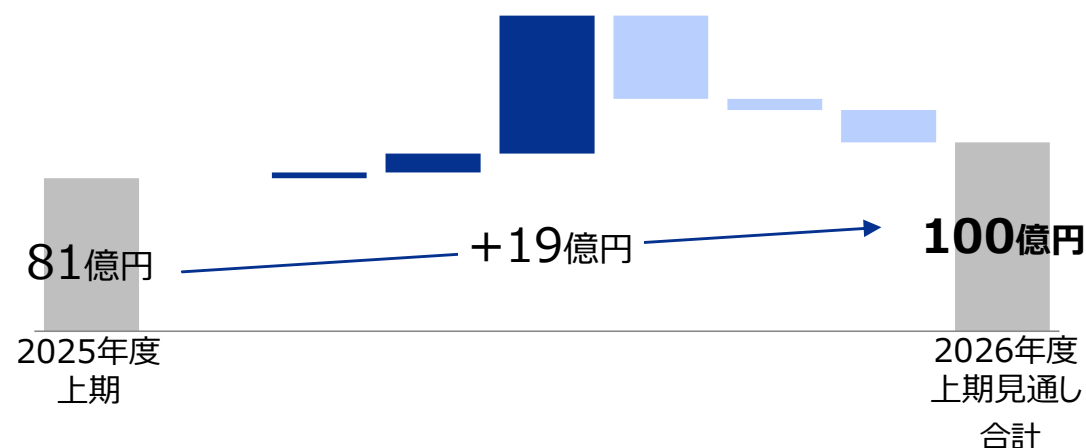
- 1Qは、管材を中心に売上の前倒しが発生し、「数量」が大幅に伸長
- 2Qは需要の調整を見込むも、引き続きスプレッドの確保に注力し、上期は増収増益を見込む

売上高



営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
上期計画 (4月)	0	+1	+7	▲1	+3	+5	▲12	+2
上期増減見通し	0	+3	+10	+73	▲44	▲6	▲17	+19

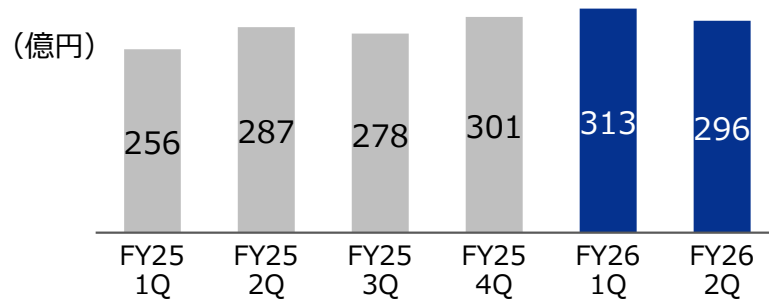


1Q増減	0	0	+23	+32	▲14	▲1	▲5	+34
2Q増減	0	+3	▲13	+41	▲29	▲4	▲12	▲15

戦略3分野の売上高推移と重要指標

パイプ・システムズ

- 管材群：住宅向けは中東情勢の悪化に伴う売上の前倒しが発生。2Q以降、調整の見通し。プラント管材は韓国、中国での需要好調
- CPVC：1Qはインドでの需要低迷の影響を受けるも、2Qは市況の回復を見込む

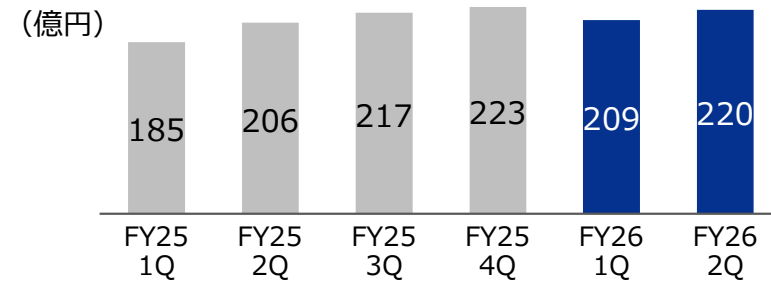


住・インフラ複合材

耐火材料

機能材

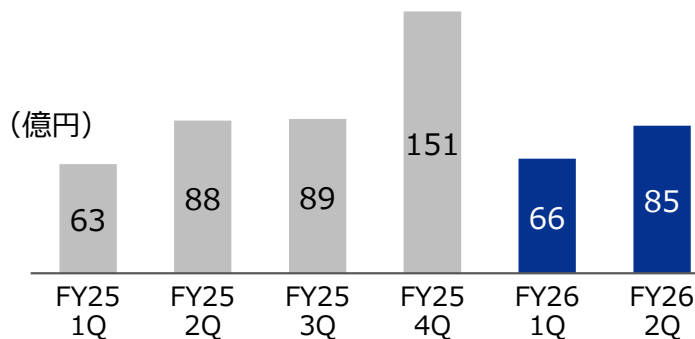
- 耐火/不燃材料：用途拡大による需要取り込みにより順調にシェア向上
- FFU（枕木用途）：欧州での採用拡大および米国展開は順調に進捗



インフラ・リニューアル

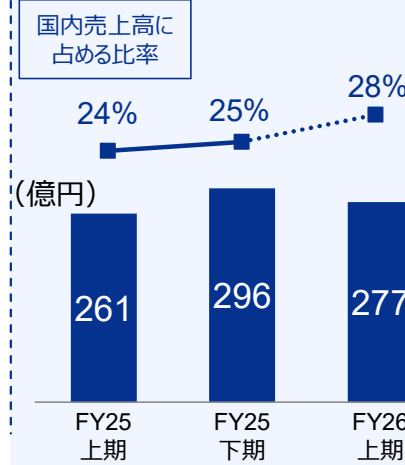
管路更生

- 管路更生：
 - 国内：全国特別重点調査による更新需要を順調に獲得
 - 海外：引き続き新規受注獲得に向け、マーケティング強化
- アクアシステム：給水用パネルタンク更新需要の獲得に注力



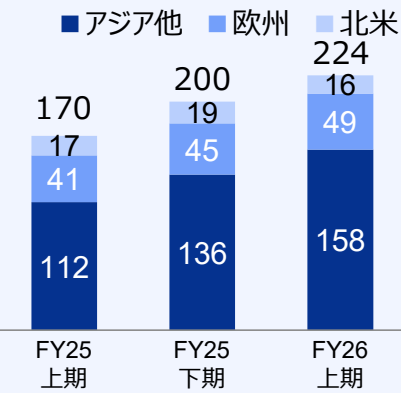
【重点拡大製品売上高(国内)】

- 耐火材料、管路更生を中心に伸長を見込む



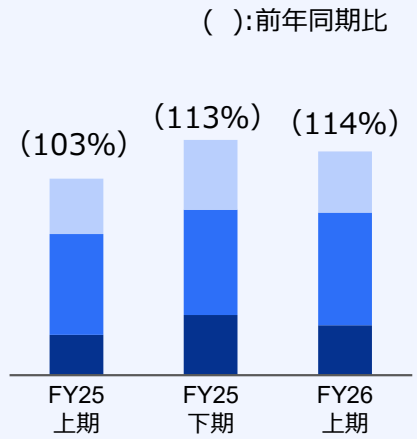
【海外地域別売上高】

- アジア（CPVC）、北米（管路更生、CPVC）、欧州（FFU）拡販に注力



【成長牽引事業売上高】

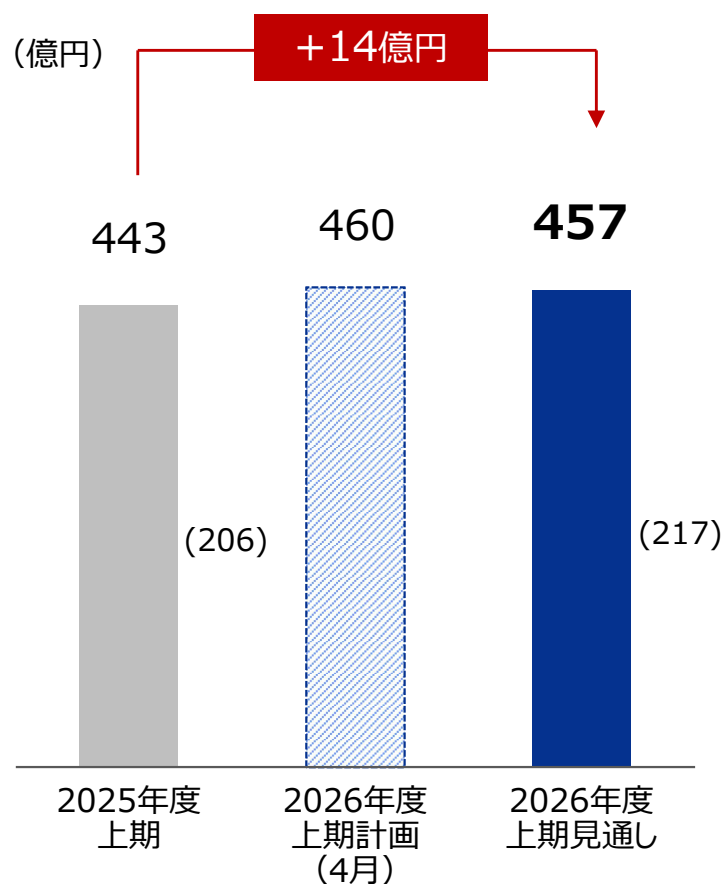
- 管路更生 ■ 耐火材料 ■ 機能材



- 1Qは収益性改善策の継続による「固定費」抑制に加え、為替の影響もあり、増収増益
- 2Qは市況の低調を見込むも、上期としては計画通り増収増益の見通し

売上高

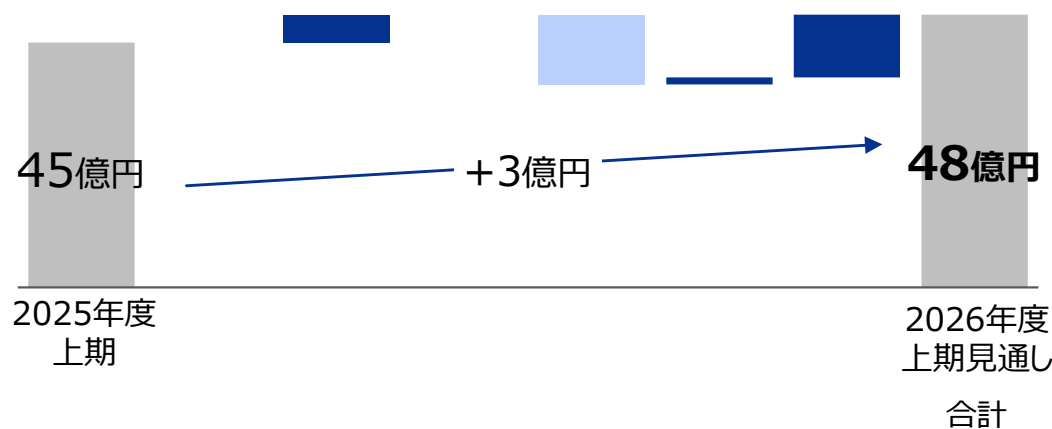
※ () 内は1Q実績



営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	検査国内	検査海外	医療他	固定費	合計
上期計画 (4月)	0	+3	+4	▲11	+4	+2	+3
上期増減見通し	0	+4	0	▲10	+1	+9	+3

欧米 : ▲4、中国 : ▲4、アジア : ▲2



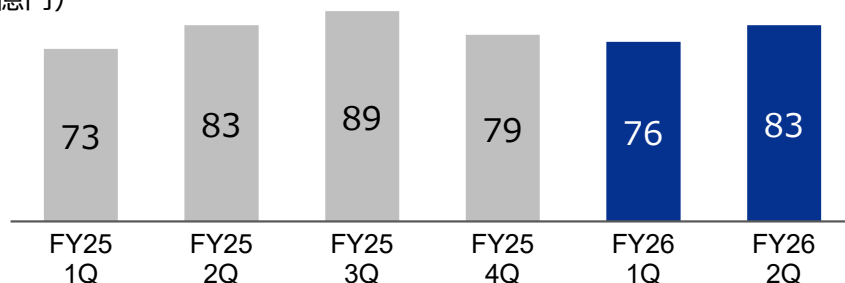
	1Q増減	2Q増減
連結増減	0	0
為替	+2	+2
検査国内	+1	▲1
検査海外	▲1	▲9
医療他	0	0
固定費	+7	+2
合計	+9	▲6

事業別の売上高推移と進捗状況

検査国内

- 市況低調も、販促推進によるシェア拡大に注力

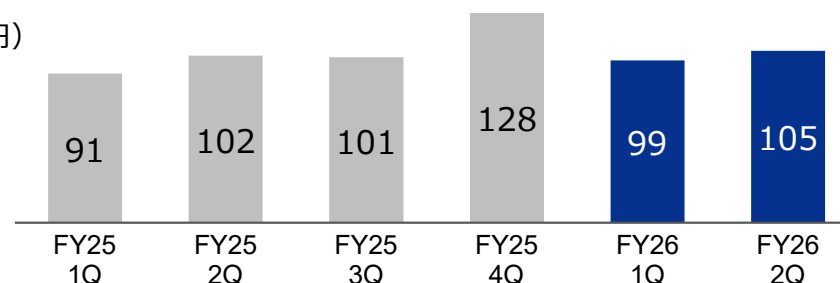
(億円)



検査海外

- 欧米（生化・免疫領域）、中国（糖尿病領域）が伸長。新製品の拡販に注力

(億円)

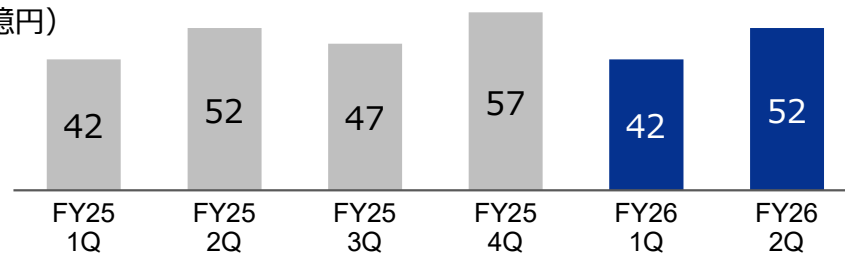


医療（医薬・創薬支援・酵素）

医療

- 医薬、創薬支援は期ずれあるものの、前年度と同じ水準で推移

(億円)

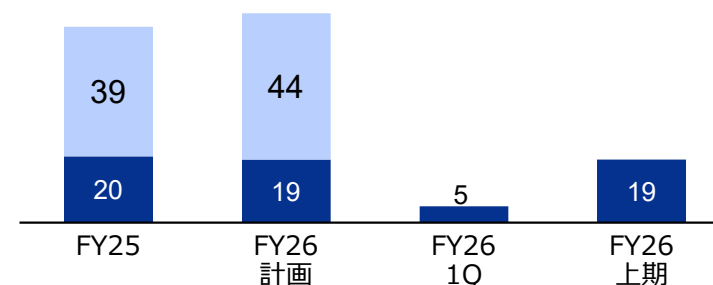


重点感染症検査キット売上高推移

- 1Q、上期とも想定通り推移。引き続き拡販に注力

(億円)

上段：下期
下段：上期



2026年度第1四半期 決算内容

連結対象会社数

	2026年3月末	2026年6月末	増減
連結会社	145社	146社	増加 1社* ¹ 減少 0社
持分法会社	6社	6社	増加 0社 減少 0社

*1 SEKISUI CANADA MODULAR SOLUTIONS INC.

連結会社増減等による影響等

	2026年度1Q (前年比)	増減
売上高	+37億円	(株) ベンハウス* ² (株) アーキテックプランニング* ² SEKISUI CANADA MODULAR SOLUTIONS INC.* ³
営業利益	+2億円	

*2 2025年度第4四半期中より新規連結

*3 2026年度第1四半期中より新規連結

損益概要

(億円)		2025年度1Q	2026年度1Q	増減	
売上高		3,051	3,330	+278	
売上総利益		988	1,090	+101	為替差損 ▲33
売上総利益率		32.4%	32.7%	+0.3%	為替差益 +15
販売費および一般管理費		776	835	+59	
営業利益		212	255	+43	
持分法投資損益		3	2	0	
その他営業外損益		▲13	24	+37	
経常利益		202	281	+79	
特別利益		1	2	+1	事業構造改善費用 +67
特別損失		4	74	+70	
税引前利益		199	209	+10	
法人税等		63	76	+14	
非支配株主に帰属する四半期純利益		5	5	0	
親会社株主に帰属する四半期純利益		131	128	▲4	
為替レート (期中平均)	米ドル	145円	159円		
	ユーロ	164円	185円		

貸借対照表 -資産-

(億円)	2026年 3月末	2026年 6月末	増減																												
現金及び預金	972	1,009	+37																												
売上債権	2,140	2,117	▲23																												
棚卸資産	3,539	3,716	+177	<table><tr><th>棚卸資産 (B/S科目)</th><th>2026年 6月末</th><th>増減</th></tr><tr><td>建売住宅 (製品)</td><td>502</td><td>+65</td></tr><tr><td>造成済土地 (分譲土地)</td><td>829</td><td>▲32</td></tr><tr><td>造成中土地 (仕掛品)</td><td>162</td><td>+11</td></tr><tr><td>工事中住宅 (仕掛品)</td><td>425</td><td>+41</td></tr><tr><td>部材等 (原材料)</td><td>67</td><td>+4</td></tr><tr><td>住宅計</td><td>1,986</td><td>+88</td></tr><tr><td>非住宅計 (製品等)</td><td>1,731</td><td>+89</td></tr><tr><td>棚卸資産計</td><td>3,716</td><td>+177</td></tr></table>	棚卸資産 (B/S科目)	2026年 6月末	増減	建売住宅 (製品)	502	+65	造成済土地 (分譲土地)	829	▲32	造成中土地 (仕掛品)	162	+11	工事中住宅 (仕掛品)	425	+41	部材等 (原材料)	67	+4	住宅計	1,986	+88	非住宅計 (製品等)	1,731	+89	棚卸資産計	3,716	+177
棚卸資産 (B/S科目)	2026年 6月末	増減																													
建売住宅 (製品)	502	+65																													
造成済土地 (分譲土地)	829	▲32																													
造成中土地 (仕掛品)	162	+11																													
工事中住宅 (仕掛品)	425	+41																													
部材等 (原材料)	67	+4																													
住宅計	1,986	+88																													
非住宅計 (製品等)	1,731	+89																													
棚卸資産計	3,716	+177																													
その他流動資産	566	630	+64																												
有形固定資産	4,626	4,693	+68	取得 +185、減価償却 ▲121 為替 +22																											
無形固定資産	576	573	▲3																												
投資有価証券	1,016	1,002	▲14																												
投資その他の資産	845	877	+31																												
資産合計	14,279	14,617	+338	為替影響 +69 実質 +268																											

貸借対照表 - 負債・純資産 -

(億円)	2026年3月末	2026年6月末	増減	
無利子負債	4,020	3,905	▲115	
有利子負債	1,448	1,893	+445	
(ネット有利子負債)	(476)	(884)	(+408)	
負債合計	5,468	5,798	+330	
資本金等	2,053	2,053	0	
利益剰余金	5,582	4,995	▲587	四半期純利益 +128
自己株式	▲587	▲33	+554	自己株式消却 ▲552
有価証券評価差額金	332	333	+1	配当金支払 ▲162
為替換算調整勘定	920	963	+43	
非支配株主持分	299	307	+7	
その他純資産	212	201	▲11	
純資産合計	8,811	8,819	+8	
負債・純資産合計	14,279	14,617	+338	
自己資本比率	59.6%	58.2%	▲1.4%	
D/Eレシオ(ネット)	0.06	0.10	+0.05	

四半期純利益
+128

自己株式消却
▲552

配当金支払
▲162

消却 +552

USD +11

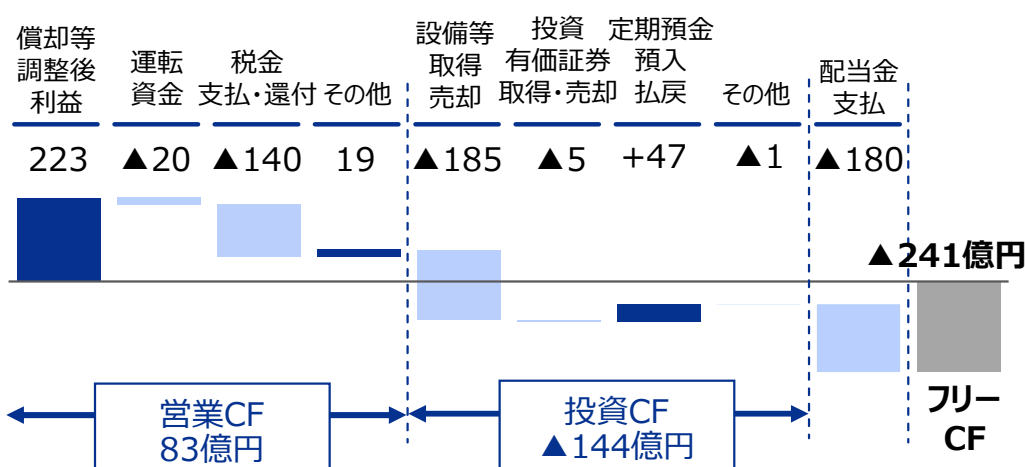
RMB +11

EUR +9

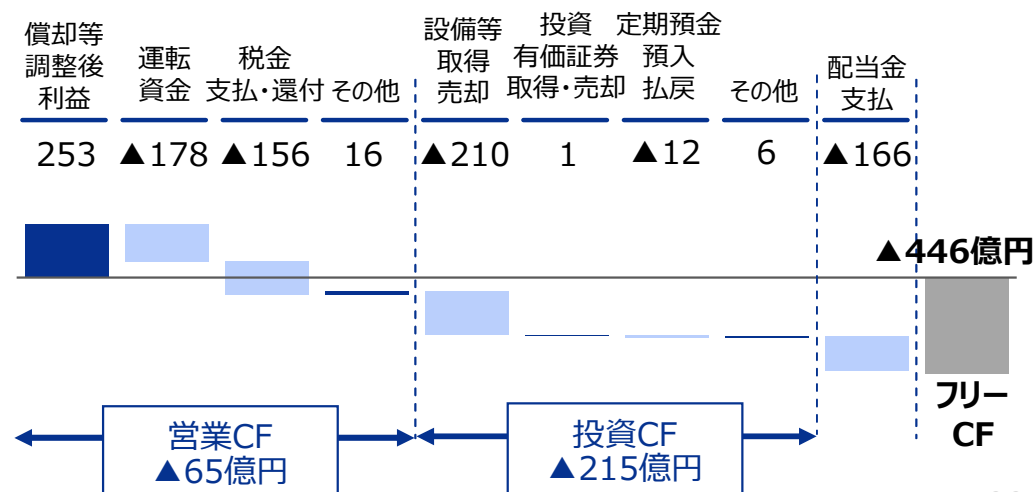
(億円)	2025年度1Q	2026年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	83	▲65
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲144	▲215
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲291	278
現金及び現金同等物の増減額	▲348	9
フリーキャッシュ・フロー ＝営業活動CF＋投資活動CF－配当金支払	▲241	▲446

(億円)	2026年3月末	2026年6月末
現金及び現金同等物の期末残高	924	949

2025年度1Q フリーCF



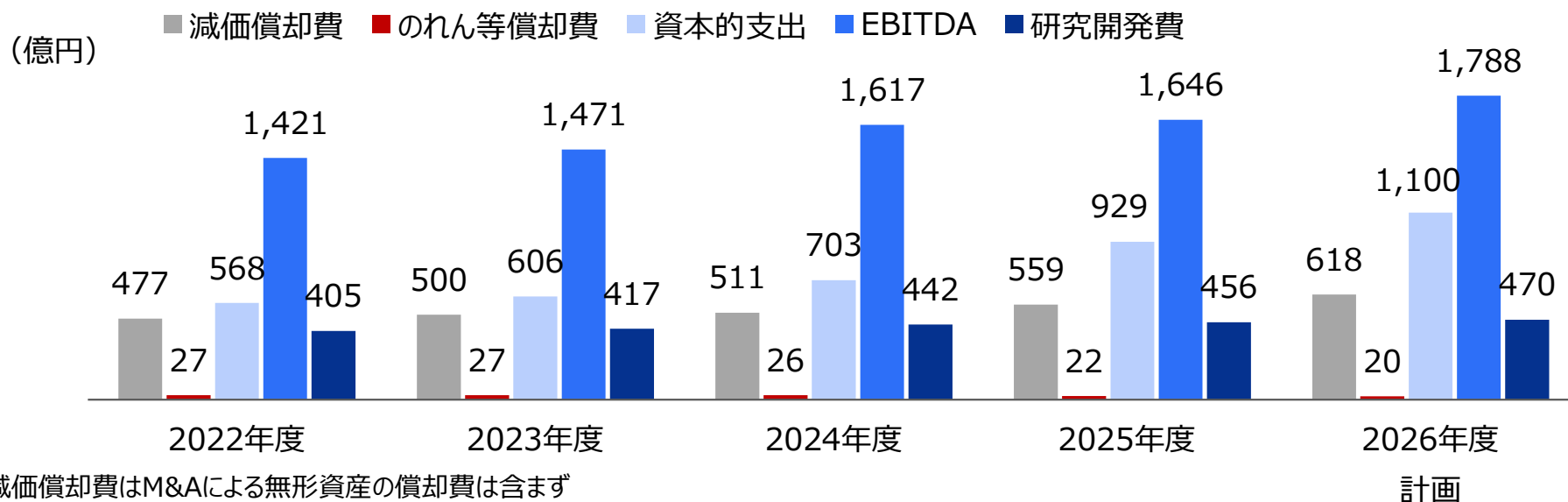
2026年度1Q フリーCF



減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2025年度 1Q	2026年度 1Q	増減	2025年度 通期	2026年度 通期計画	増減
減価償却費*1	134	141	+6	559	618	+59
のれん等償却費*2	6	5	▲1	22	20	▲2
資本的支出	191	196	+5	929	1,100	+171
EBITDA*3	353	★ 401	+48	1,646	★ 1,788	+142
研究開発費	112	108	▲4	456	470	+14

減価償却費・資本的支出・研究開発費推移



*1 減価償却費はM&Aによる無形資産の償却費は含まず

*2 のれん等償却費 = のれん償却費+M&Aによる無形資産の償却費

*3 EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん等償却費

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。

住宅事業の主要データ		2026年度		2025年度		
		1Q	上期見通し	1Q	上期	下期
連結	売上高 (億円)	1,270	2,767	1,284	2,586	2,776
	住宅	770	1,707	845	1,671	1,749
	リフォーム	271	593	269	563	587
	レジデンシャル	217	439	155	327	412
	不動産	176	349	143	294	335
	まちづくり	41	90	13	33	77
	その他	13	27	14	26	28
その他	1.販売棟数 (棟)	1,796	4,050	2,118	4,190	4,205
	戸建	1,663	3,705	2,001	3,866	3,788
	請負	1,424	3,215	1,707	3,351	3,256
	建売	239	490	294	515	532
	アパート等	133	345	117	324	417
	2.主なデータ					
	単価<連結販社・戸建> (百万円)	40.2	-	39.1	39.1	39.8
	坪単価<連結販社・戸建> (万円)	121.6	-	116.2	116.6	117.9
	床面積<連結販社・戸建> (㎡)	109.1	-	111.1	110.7	111.3
	ZEH比率*	-	-	-	-	95%
	展示場数(棟)	-	355	-	380	366
	営業人員数(人)	2,237	2,178	2,309	2,221	2,057

* ZEH比率は新築戸建に占める比率。北海道含む。

各種実績データ

全社	2026年度				2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
高機能P	1,284	-	-	-	1,082	1,153	1,142	1,188	1,106	1,105	1,120	1,142	961	1,042	1,060	1,066	991	1,024	979	970
住宅	1,270	-	-	-	1,284	1,303	1,364	1,412	1,162	1,374	1,320	1,384	1,210	1,438	1,267	1,381	1,157	1,445	1,290	1,482
環境LL	605	-	-	-	519	602	605	678	525	609	608	662	513	584	598	653	501	603	592	647
メディカル	217	-	-	-	206	237	238	257	223	255	251	262	205	232	237	253	206	223	224	244

高機能P	2026年度				2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
エレクトロニクス	197	-	-	-	163	188	188	180	157	169	178	156	126	148	142	137	157	129	131	116
モビリティ	673	-	-	-	577	612	621	637	587	586	580	612	489	550	574	578	432	493	486	502
インダストリアル	302	-	-	-	259	264	254	269	266	265	268	269	243	249	241	254	267	271	252	254

エレクトロニクス分野	2026年度				2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
液晶向け	57	-	-	-	51	51	56	51	48	51	53	51	47	49	48	45	58	37	41	42
非液晶向け	140	-	-	-	112	137	132	125	109	117	125	105	79	98	95	93	99	92	90	73
非液晶比率（%）	71	-	-	-	69%	73%	70%	71%	70%	69%	70%	67%	62%	68%	66%	67%	63%	71%	69%	63%

モビリティ分野	2026年度				2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
N-HPP膜 販売量 対前年伸長率（%）	97%	-	-	-	112%	113%	104%	96%	112%	100%	95%	108%	98%	102%	107%	103%	98%	119%	102%	98%

*24年度より N-HPP中間膜。23年度以前は区分変更前の高機能中間膜の実績

各種実績データ

インダストリアル分野	2026年度				2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
省力化製品	60	-	-	-	52	54	48	56	59	59	59	70	49	52	48	56	60	56	48	53
環境対応製品	33	-	-	-	27	29	29	28	19	19	22	22	17	21	20	22	19	19	21	21

*26年度より省力化・環境対応製品の採用基準見直し。25年度実績数値より新基準を反映

住宅	2026年度		2025年度		2024年度		2023年度		2022年度	
■営業利益（億円）	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
住宅	-	-	88	103	79	90	67	79	95	112
リフォーム	-	-	57	67	50	49	40	42	36	43
レジデンシャル*	-	-	17	37	16	31	22	26	17	27

*25年度よりレジデンシャル。24年度以前は区分変更前のその他（海外・住生活を含む）実績

環境LL	2026年度				2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
パイプ・システムズ	313	-	-	-	256	287	280	301	268	310	301	302	253	296	301	291	257	298	295	286
住・インフラ複合材	209	-	-	-	185	206	218	223	182	206	213	199	184	200	205	197	173	208	209	204
インフラリニューアル	66	-	-	-	63	88	92	151	59	74	71	135	55	70	72	140	50	69	59	127

環境LL	2026年度		2025年度		2024年度		2023年度		2022年度	
■売上高（億円）	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
重点拡大製品（国内）	-	-	261	296	226	271	195	265	190	243
海外	-	-	170	219	202	201	195	199	222	195

メディカル	2026年度				2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
検査国内	76	-	-	-	73	83	89	79	76	84	87	79	76	80	87	80	78	73	81	77
検査海外	99	-	-	-	91	102	101	125	112	118	119	127	94	100	112	120	89	104	106	112
医療	42	-	-	-	42	52	48	54	35	54	44	56	36	52	38	53	39	45	37	55

SEKISUI